

新国立劇場 演劇研究所公演

朗読劇『ひめゆり』

脚本：瀬戸口 郁 構成：道場禎一 構成・演出：西川信廣
出演：新国立劇場 演劇研究所研修生 ほか

2019年8月9日（金）～12日（月・休）
新国立劇場 小劇場

2019年8月21日（水）
国立劇場おきなわ 小劇場

「^{ヌチ}命^{タカラ}ドウ宝」わたしたちは沖縄戦を忘れない

2017年に入所の第13期生が舞台実習としていよいよ小劇場に登場いたします。演劇研究所では、毎年夏に過去の歴史に向き合う機会として広島あるいは沖縄をテーマにした朗読劇を上演してきました。朗読劇「ひめゆり」は、太平洋戦争末期の沖縄戦における「ひめゆり学徒隊」をテーマに、演劇研究所で2016年に新制作した沖縄戦ドキュメンタリー・ドラマです。本年は、新国立劇場での公演に加えて、物語の舞台である沖縄でも公演を行います。ANAからの支援により沖縄での国内研修を行い、心新たに再演に臨み、語り継ぐべき記憶と、あの時代への思いを紡いでいきます。



2017年8月 第11期生朗読劇『ひめゆり』より



2017年8月 第11期生朗読劇『ひめゆり』より

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 研修主管 広報担当 田村昌子

Tel: 03-5352-5770 / Fax: 03-5352-5776 Email: press@nntt.jac.go.jp

■新国立劇場 演劇研究所ホームページ

<https://www.nntt.jac.go.jp/play/training/>

■新国立劇場 演劇研究所 Facebook

<https://www.facebook.com/nnt.dramastudio.tokyo/>

■新国立劇場 演劇研究所 twitter

https://twitter.com/nnt_dramastudio/

最新情報はこちら！

最新情報はこちら！

公演概要

脚 本：瀬戸口 郁

「私のひめゆり戦記」(宮良ルリ著)「ひめゆりの塔 学徒隊長の手記」(西平英夫著)「ひめゆりの塔をめぐる人々の手記」(仲宗根政善著)より

構 成：道場禎一

構成・演出：西川信廣(新国立劇場 演劇研修所副所長)

美 術：小池れい

ヘアメイク：前田節子

照 明：塚本 悟

歌 唱 指 導：伊藤和美

音 楽：上田 亨

方 言 指 導：長本批呂士(3期修了) 下庫理ゆき

音 響：黒野 尚

演 出 助 手：中西良介(10期修了)

衣 裳：中村洋一

舞 台 監 督：米倉幸雄

出 演：新国立劇場演劇研修所 第13期生

今井仁美 大久保真希 島田恵莉 松内慶乃 松村こりさ ユーリック永扇

河波哲平 河野賢治 宮崎隼人

高倉直人(10期修了) 永田 涼(10期修了) 聖香(11期修了) 小比類巻諒介(11期修了)

協 力：全日本空輸株式会社(新国立劇場若手俳優育成のための国内研修事業支援)

演劇研修所長：宮田慶子

主 催：新国立劇場

会 場：新国立劇場 小劇場

日 程：2019年8月9日(金) 19:00

10日(土) 14:00

※託児サービス利用可

11日(日・祝) 14:00

12日(月・休) 14:00

※開場は開演の30分前です。

※10日(土)14:00のみ、託児所のご利用が可能です。

料 金：A 席 2,160円

B 席 1,620円

学生券 上記チケット料金の半額

※枚数制限はありません。就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※会員割引を含め、各種割引はございません。

※Z席の販売はございません。

※車椅子ご利用のお客様はボックスオフィスまでお問い合わせください。

※学生券はボックスオフィスの窓口・電話にて受け付けます。

お引き取りの際には、学生証または年齢を確認できるものが必要です。

チ ケ ッ ト：新国立劇場ボックスオフィス/Web ボックスオフィス

03-5352-9999/<http://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ【Pコード：494-340】

0570-02-9999/<http://pia.jp/t>

前 売：アトレ会員先行発売期間

2019年6月17日(月)～6月23日(日)

一般発売日

2019年6月25日(火) 10:00～

あらすじ

南国の太陽が輝く相思樹並木の道。
那覇と首里の間、安里駅近くに

沖縄師範学校女子部
沖縄県立第一高等女学校

——通称「ひめゆり学園」と呼ばれる女学校があった。
女生徒たちは誇り高く、勉学に運動に活気に満ちた学園生活を送っていた。
しかし——昭和 20 年 3 月。太平洋戦争の大波は沖縄に押し寄せ、女生徒たちに従軍命令が下される。「ひめゆり学徒隊」として戦場に送り出された彼女たちは日本の勝利を信じ、野戦病院で献身的な看護活動に励むが、やがて沖縄は「鉄の暴風」吹き荒れる苛烈な戦場と化していき……

スタッフ



構成・演出：西川信廣（にしかわ・のぶひろ） 演出家

文学座附属演劇研究所16期、81年座員となる。86年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてイギリスに滞在。ブリストル・オールドビックやナショナル・シアターでロジャー・リース、ピーター・ホールなどの演出助手を務める。84年文学座アトリエの会『クリスタル・クリアー』で文学座初演出。以来、文学座を中心に商業演劇から小劇場までストレートプレイを中心に幅広く活動中。新国立劇場での演出に『野望と夏草』（読売演劇大賞優秀演出家賞受賞）『母たちの国へ』。92年文学座アトリエの会『マイ チルドレン！ マイ アフリカ！』にて紀伊國屋演劇賞個人賞、芸術選奨・文部大臣新人賞。94年文学座公演『背信の日々』で読売演劇大賞優秀演出家賞ほか、受賞多数。東京藝大客員教授。日本劇団協議会会長。日本演出者協会理事。新国立劇場演劇研修所では設立時より現在まで副所長を務める。



脚本：瀬戸口 郁（せとぐち・かおる） 俳優・劇作家

慶應義塾大学文学部卒業。文学座所属。俳優として、『寒花』『女の一生』『再びこの地を踏まず』など文学座の舞台を中心に活躍。『音楽劇 わが町』（俳優座劇場プロデュース）など外部出演も多数。脚本に『ザ・クライシス』（文学座アトリエ）、『エゲリア』（文学座）、『真砂女』（劇団朋友）、ミュージカル『君といた夏』（可児市文化創造センター）、『南の島に雪が降る』（劇団前進座）など。脚本作品『てくれつつのば』（劇団文化座）が平成20年度文化庁芸術祭大賞を受賞。同作品は韓国、トルコ共和国でも上演される。また新作日本舞踊の脚本『白蓮轉多羅』（徳彌の会・国立劇場）を手掛けるなど、ジャンルを問わず旺盛な執筆活動を展開している。



構成：道場禎一（どうじょう・ていいち） 演出家・演出助手・舞台監督

フリーの演出家・演出助手・舞台監督として活動。その活動は小劇場から商業演劇まで多岐にわたる。主な演出作品に『在り方』『赤ずきんちゃんの森の狼たちのクリスマス』『歌うシンデレラ』『東おんなに京女』などがある。92年より西川演出作品に参加。『野望と夏草』『音楽劇 わが町』『真砂女』『音楽劇人形の家』『ハーヴェイ』『黒革の手帳』『仮縫い』ほか多数の作品で演出助手を務めている。

出演者

演劇研修所 第13期生

今井仁美 (いまい・ひとみ)  1990 年生・埼玉県出身	大久保真希 (おおくぼ・まき)  1996 年生・大阪府出身	島田恵莉 (しまだ・えり)  1994 年生・愛媛県出身	松内慶乃 (まつうち・よしの)  1991 年生・福島県出身
松村こりさ (まつむら・こりさ)  1996 年生・愛媛県出身	ユーリック永扇 (ゆーりっく・えいみ)  1998 年生・静岡県出身		
河波哲平 (かわなみ・てっぺい)  1994 年生・京都府出身	河野賢治 (こうの・けんじ)  1996 年生・兵庫県出身	宮崎隼人 (みやざき・はやと)  1988 年生・岩手県出身	

演劇研修所修了生

高倉直人 (たかくら・なおと)  10 期修了	永田 涼 (ながた・りょう)  10 期修了	聖香 (そんひゃん)  11 期修了	小比類巻諒介 (こひるいまき・りょうすけ)  11 期修了
--	---	--	--

国内研修の実施

新国立劇場演劇研修所第13期生は、全日本空輸株式会社による新国立劇場若手俳優育成のための国内研修事業支援のもと、舞台の地・沖縄にて事前国内研修を行いました。(5月13日(月)～17日(金))

沖縄が本土に復帰したのは47年前の1972年5月15日。重い米軍基地負担の解消を訴える5・15平和行進が行われる時期の沖縄にて、平和について深く考える研修となりました。

ひめゆり学徒隊が勤務した南風原陸軍病院壕、糸数分室(アブチラガマ)、米軍の攻撃によって多くの島民・学徒が犠牲となった第三外科壕など、台本に出てくる壕・ガマを多数見学。

ひめゆり平和祈念資料館では、作品の出典のひとつ、「私のひめゆり戦記」の著者、宮良ルリさんのインタビュー動画も拝見し、戯曲への理解を深めました。

南端へと追い詰められた学徒隊の最後の地となった、美しい珊瑚礁が広がる荒崎海岸にも赴き、青い海に手を合わせました。

激戦地であった沖縄の市街地では今もまだ多数の不発弾が発見されることがある。

基地の見学にも行き、戦後74年の今なお残る爪痕の生々しさを実感しました。

また沖縄の劇団の方々をはじめ、明るく温かい現地の方々との交流も心に残ります。

その場所でしか感じることをできない空気・音・匂いを体験し、語り継ぐべき出来事を紡ぐことへの覚悟と決意を新たにしました。



ひめゆり平和祈念資料館にて



ひめゆりの塔

新国立劇場 演劇研修所について

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指して、2005年に設立されました。

研修期間は3年間で、原則として週5日間、午前10時30分～午後6時のレッスンを、1年を通して行っています。

1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣によるシーンスタディを行い、3年次には修了公演に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演するなど、活躍の場を広げています。

【今後の主な修了生出演作品】

新国立劇場 2018/2019 シーズン 『オレスティア』

(原作：アイスキュロス、作：ロバート・アイク、翻訳：平川大作、演出：上村聡史、2019年6月)

チョウ ヨンホ (第4期生)、草薙智文 (第9期生)、高倉直人 (第10期生)

『北斎漫画』

(作：矢代静一、演出：宮田慶子、2019年6-7月)

吉田健悟 (第7期生)

劇団青年座 第237回公演 『明日-1945年8月8日・長崎』

(原作：井上光晴、脚色：小松幹生、演出：鈴木完一郎、演出補：山本龍二、2019年7月)

角田萌果 (第10期生)

地人会新社第9回公演 『リハーサルのあとで』

(作：イングマール・ベルイマン、訳：岩切正一郎、演出：栗山民也、2019年9月)

森川由樹 (第6期生)

新国立劇場演劇 2019/2020 シーズン シリーズ【ことぜん】Vol.1 『どん底』 [新訳上演]

(作：マクシム・ゴーリキー、翻訳：安達紀子、演出：五戸真理枝、2019年10月)

長本批呂士 (第3期生)、クリスタル真希 (第4期生)、今井 聡 (第4期生)、永田 涼 (第10期生)、福本鴻介 (第12期生)

ホリプロ『カリギュラ』

(作：アルベール・カミュ、翻訳：岩切正一郎、演出：栗山民也、2019年11-12月)

西原やすあき (第2期生)、原 一登 (第4期生)、野坂 弘 (第7期生)、峰崎亮介 (第7期生)、

坂川慶成 (第8期生)、川澄透子 (第11期生)、小比類巻諒介 (第11期生)

KAAT・KUNIO 共同製作 KUNIO15『グリークス』

(編・英訳：ジョン・バートン、ケネス・カヴァンダー、翻訳：小澤英実、演出・美術：杉原邦生、2019年11月)

藤井咲有里 (第2期生)、永井茉莉奈 (第12期生)、中坂弥樹 (第12期生)、

ほか、テレビ・映画・CMなど

本公演に出演する第13期生は、2017年4月に入所。3年次である今年度は来年3月の修了を控え、朗読劇、試演会、修了公演に臨みます。

【第13期生の今後の予定】

2019年10月25日～30日(予定) 試演会

(演出：西川信廣)

2020年2月21日～26日(予定) 修了公演

(演出：宮田慶子)



2019年2月 第12期生修了公演『るつぽ』



2019年3月 第13期生シーンスタディ『三文オペラ』発表授業

国立劇場おきなわ公演情報

新国立劇場演劇研修所 国立劇場おきなわ公演

朗読劇『ひめゆり』

脚 本： 瀬戸口 郁

「私のひめゆり戦記」(宮良ルリ著)「ひめゆりの塔 学徒隊長の手記」(西平英夫著)「ひめゆりの塔をめぐる人々の手記」(仲宗根政善著)より

構 成： 道場禎一

構成・演出： 西川信廣(新国立劇場 演劇研修所副所長)

美 術： 小池れい

ヘアメイク： 前田節子

照 明： 塚本 悟

歌 唱 指 導： 伊藤和美

音 楽： 上田 亨

方 言 指 導： 長本批呂士(3期修了) 下庫理ゆき

音 響： 黒野 尚

演 出 助 手： 中西良介(10期修了)

衣 裳： 中村洋一

舞 台 監 督： 米倉幸雄

出 演： 新国立劇場演劇研修所 第13期生

今井仁美 大久保真希 島田恵莉 松内慶乃 松村こりさ ユーリック永扇

河波哲平 河野賢治 宮崎隼人

高倉直人(10期修了) 永田 涼(10期修了) 聖香(11期修了) 小比類巻諒介(11期修了)

演劇研修所長： 宮田慶子

主 催： 新国立劇場 国立劇場おきなわ

制 作： 新国立劇場

会 場： 国立劇場おきなわ 小劇場

日 程： 2019年8月21日(水) 19:00

※開場は開演の30分前です。

料 金： 2,200円

学生券(大学生以下) 1,000円

※新国立劇場ボックスオフィスでの取扱はありません。

※団体割引(10名以上) 一般価格より1割引

※障がい者割引・国立劇場おきなわ友の会会員割引は一般価格より2割引

※就学前のお子様のご同伴、ご入場はご遠慮ください。

チケット一般発売日：2019年6月1日(土)

チケット取扱：国立劇場おきなわチケットカウンター

TEL：098-871-3350

WEB：<https://www.nt-okinawa.or.jp/ticket-info/web-ticket>

窓口：〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4丁目14-1 国立劇場おきなわ1階

お問い合わせ：国立劇場おきなわチケットカウンター